

道徳学習指導案

日時 平成17年7月21日(木) 第5教時
生徒 2年A組 野15名・好12名、計27名
指導者 池野勝子

1、主題名 『広い心』 内容項目 2-⑤ 個性や立場の尊重

2、資料名 『石ころ』(金子みすゞ)
(「心を育てる新しい道徳授業を創る」明治図書 より)

3、主題設定の理由

人はそれぞれ自分の見方考え方をもっており、それは他人といつも同じとは限らない。これらは、個性やその人の立場として尊重され、理解されるべきことである。しかし、時として、一方的な見方をされ、個性や立場を否定されることもある。

生徒たちは中学校生活にも慣れ、どうしても馴れ合いになりがちな人間関係にある中、4月から学級担任が変わり、さまざまな面で新たな取り組み方法を学ぶこととなった。その必要性を感じ、学級全体が担任に応えるべく努力してきた1学期であったように思う。この先、この姿勢を向上させていくためには、どうしても対仲間への広い心をもつ必要があるだろう。そこで、それぞれの個性や立場を尊重し、互いの差異を認め合うことの大切さに気付かせていきながら、相手の人格を尊重する態度を育てていけたらと思い本主題を設定した。

4、本時の目標

それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して謙虚に他に学ぶ広い心をもとうとする態度を育てる。

5、本時の展開

	学 習 活 動	主 な 発 問	指 導 上 の 留 意 点
導 入	<ul style="list-style-type: none">4つの箱を用意して、好きなものを選び、名札を置く。	<ul style="list-style-type: none">ここにある4つの箱から一つ選ぶとしたらあなたはどれを選びますか。	<ul style="list-style-type: none">大きさや包み紙の違う箱を、外見の判断のみで選んでみる。
展	<ul style="list-style-type: none">詩「石ころ」の印刷され詩「石ころ」を朗読、群読し、ワークシートに2つの発問に対する自分の考えを記入する。2つの発問に対する自分の考えを発表し合う。ワークシート②を配布	<p>発問 1 _____ 石ころにつまずいたときの子供や馬はどんな気持ちだったか。</p> <p>発問 2 _____ 転ばせてつまずかせた石ころはどんな気持ちだったか。</p>	<ul style="list-style-type: none">石ころに対して批判的な意見が多く出ることを期待したい。石ころは悪い奴だと思い込んでの見方しかできなくなることを無意識に体験させたい。

ワークシート①

2年 番	
------	--

石ころ	きのうは子どもを ころばせて きょうはお馬を つまずかす あしたはたれが とおるやら	いなかのみちの 石ころは 赤い夕日に けろりかん	*たれ だれ *けろりかん 平気で知らん顔 して
-----	---	-----------------------------------	--------------------------------

①石ころにつまずいたときの子どもや馬はどんな気持ちだったと思いますか。

--

②ころばせてつまずかせた石ころはどんな気持ちだったと思いますか。

--

ワークシート②

2年 番	
------	--

③ころんだのはだれのせいですか。

--

④ひとりぼっちで夕日の中にいる石ころは
どんな気持ちだと思いますか。

--

◎今日の学習の感想

--